

堺のがんばる企業応援マガジン

さかい

IPC

SAKAI CITY
INDUSTRIAL PROMOTION CENTER
PRESS

PRESS 2012.4 vol.23



特集・いまを見据え、あしたに活かす

多様な人材や働き方を活かして、 企業のさらなる成長へ



INDEX

特集・いまを見据え、あしたに活かす ——— 1

株式会社サンヨー
南海鋼材株式会社
株式会社昭和鋳金工作所

気になる「さかい人」録 ——— 8

日本の伝統工芸への関心から
注染の職人の道へ
株式会社北山染工場 職人 笠松久才香さん

さかいモノ語り ——— 11

二つと同じものがない、手作りの麻雑貨
麻工房FUJITA



公益財団法人

堺市産業振興センター

Sakai City Industrial Promotion Center <http://www.sakai-ipc.jp/>

「働きやすさ」が愛社精神を育て、 企業の大きな成長を支える

南海鋼材株式会社 福原實晴社長

誰もが働きたくなる 会社をめざして

特殊鋼の切断販売から始まって、今では金型や型部品、治工具、そしてダイヤモンド本体の製造販売までを手がける南海鋼材株式会社。製販一体型の「創る商社」



社長自らが得意先の現場を見て歩き、需要を実感したという金型用予熱装置「予熱くん」。キャラクターも作成するなど、力を入れている主力商品。

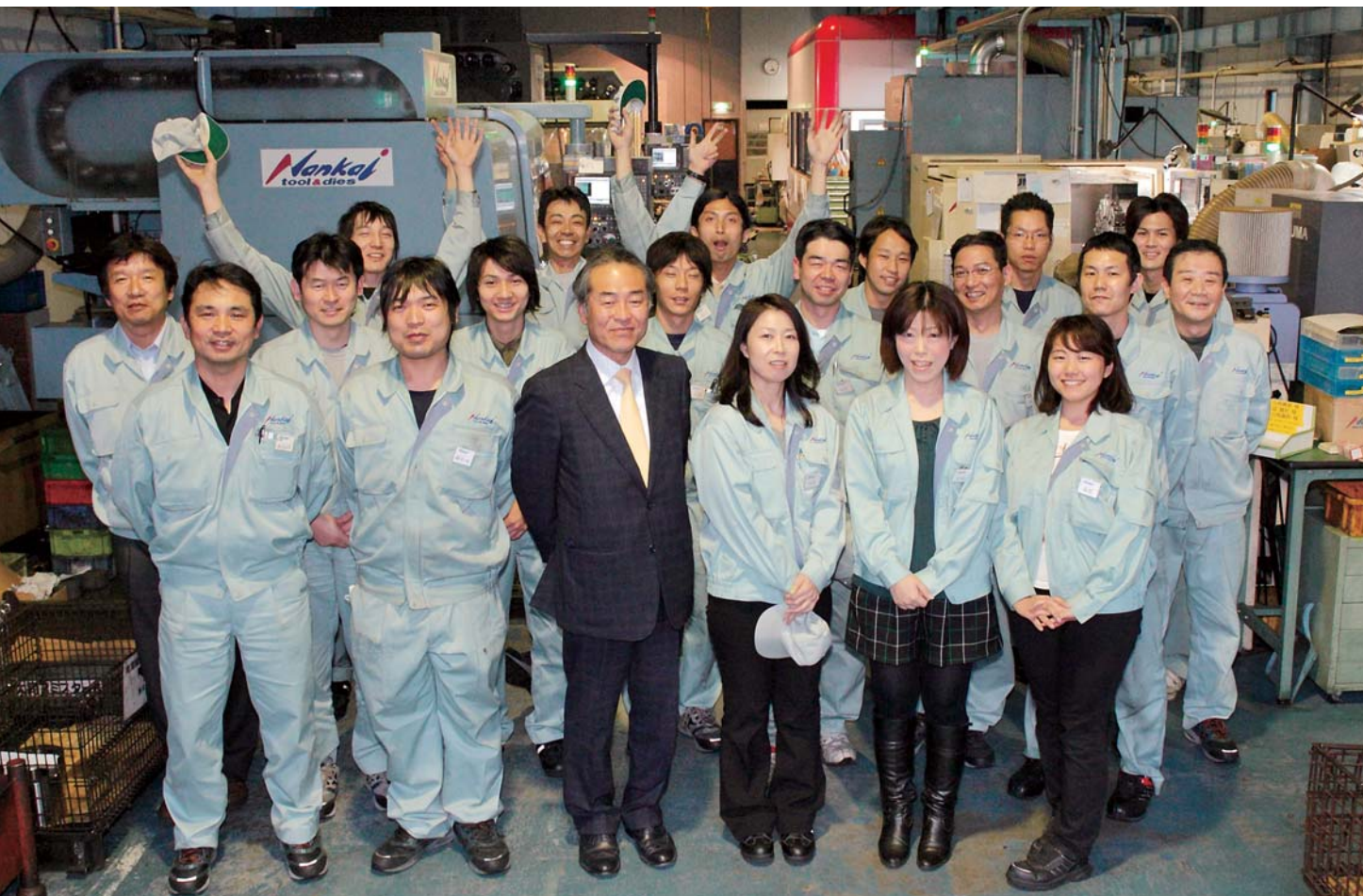
としての強みを備えて事業を拡大してきた企業です。

同社では、そうした成長とともに、社員の育児などを積極的にサポートする「ワークライフバランス」に取り組んでいます。福原實晴社長は「ワークライフバランスを特別に意識していません。ただ、誰に聞いても、働きたい会社は給料が高くて、休みが多くて、職場環境も人間関係も良いことでしょう。そういう会社づくりをしたいというのが基本」と語っています。

ところで、その取り組みは驚くべきものです。まず定年の規定はあるものの、本人の意欲があれば好きなだけ働き続けることができます。これまで最高で72歳まで働いた社員もいるとか。女性を積極的に活用し、管理職にも女性の多い同社では、育児休暇も取得しやすく、最近では男性社員が長期取得した例もあるそうです。

社員みんなで利益を共有し、 支え合う企業づくりを実践

以前、末期ガンで余命を宣告された社





福原社長の信念は「夢・情・感・粋」。新事業を展開する時も「この事業に夢はあるか、情けはあるか、感性が時代に合っているか、格好いいか」と自問するという。

員がいたそうです。子ども二人を抱える身だったので、出勤できる間はずっと若手への技術指導をする条件で亡くなるまでの給料を払い続けました。若手は必死で技術を習得し、他の社員たちには「この会社は何があっても社員を見捨てな



金型の高精度加工を短時間でやるのも同社の強み。

い」という安心感を与えたようです。

「ラグビーで有名なOne for All, All for One」、社員がみんなで支え合う精神ですね。それを実現できるのは会社に余裕があるから。利益を上げているからです。

そして、それらの取り組みを社員自ら率先してやっていることが重要なんです。社員にしてもこの会社を守ることは自分たちを守ることになるから（福原社長）。

日頃から月次売上げなどをオープンにしていることも、会社の利益を上げようという社員のモチベーションアップにつながっているようです。

ゆとりが工程に工夫を生み、競争力を強化する

いつ誰が育児や病気による長期欠勤になってもいいように、人員にゆとりを持たしているという同社の現場を見た得意先企業は、NC工作機1台に1人ずつが担当していることに驚くといいます。

「二見ムダかもしれません、代わりに今まで10時間かかっていたものを7時間あるいは5時間でやる方法を考えてみる」と言っています。余裕があるから製造工程にも工夫ができる。結果、効率化も合理化も図られ競争力が生まれています」と福原社長。

今年3月に堺浜工場が竣工しました。「飛行機が怖いから、海外へは進出しないんです」と笑う福原社長だが、新工場には福原社長の大きな夢が託されています。

おおらかな社長のもとで、のびのびと働く社員のみなさん。得意先企業からも「これほど社員の裁量が大きく、すぐに判断し行動してくれる会社は少ない」と驚かれるとか。



社長自らが「ゴンドラのイメージ」とデザインした「CAD・CAM室」。社長の遊び心が生きている。

海外では作れない複合金化された金型や、1週間という超短期で納品できるダイセットプレートなど、日本にいなながら海外進出した企業を支える事業です。

「私はいつも自分のビジョンを社員たちにはっきりと示し、社員にも夢を与える。それが社長の仕事だと思っています」と語っています。



リーマンショック後、会社の売上げが非常に落ち込んだ時に、社内でおやじバンド「南海ドルフィンズ」を結成した福原社長。社内の暗い空気を払拭するのに貢献した。ライブの様子を紹介する社内報(右)。

南海鋼材株式会社

代表者/代表取締役社長 福原實晴
 本社/堺市堺区北庄町2-2-10
 TEL/072-233-1525 (代)
 設立/1950年
 資本金/1,600万円
 従業員数/150名
 事業内容/特殊鋼・工具鋼・金型用鋼の切断販売、金型・型部品・各種治工具の製造販売、鍛造プレス用ダイセットの販売、海外における金型及び型部品加工委託 など



本社



堺浜工場

<http://www.nankaikozaei.co.jp/>

学歴も成績も障がいも関係ない 求めるのは真摯に取り組む姿勢

株式会社昭和鋳金工作所 秋田秀勝社長

障がい者訓練校を紹介されて初めて気づかされた逸材

機械メーカーや工具メーカーが新製品の開発やモデルチェンジを行う際に製造する試作機。そこで必要な試作部品作りが、昭和鋳金工作所の主要な事業です。試作の段階は小ロットで設計変更も多いため、金型を作る費用や時間をかけていられないこともあり、昭和鋳金工作所では職人一人ひとりが、NC工作機械などを使って簡易金型や簡易治工具を作っ



試作部品を製造するための簡易金型や簡易治工具は、職人一人ひとりの工夫によって作られる。



部品を製造しています。「依頼される部品は2つと同じものがなく、一回一回が職人の手作り。そこに求められるのは、確かな技術力はもちろんのこと、創造性と集中力だ」と秋田社長は言います。

しかし昨今、若い世代のものづくり離れもあり、優秀な人材を確保するのは至難のワザ。十数年前も、NCプログラム部門の定着率が悪く、常に人手不足の状態だったそうです。そうした時に、ハローワークの職員から「コンピュータを勉強した人がいる」と勧められたのが障がい者訓練校でした。

**特別視する必要は全くなく
個性の一つだと思えた**

「それまでにはない発想でした」と語る秋田社長ですが、そこで意欲も能力も高い人材に出会えました。「採用にあたっては、障がい者用トイレを設置すること、駐車スペースと1m以上の広い通路を確保することの3つの条件が出されたため、社屋の新築にあわせて整備しました。それよりも工場内で安全を守ってやれるか



NC工作機械をコンピュータ制御するためのプログラムを作成しているNCプログラム部門。

という不安がありました。が、実際に働きますとそれも全くの杞憂に終わった」といいます。

「現在は車椅子を使用している社員が一人。以前には聴覚障がいを持った社員も

いました。手話を習わないといけないかなと思っていましたが、一切必要なかったですね。筆談やメールも使いましたが、ほとんどが簡単なジュエスチャーでコミュニケーションがとれます。彼らを特別扱

いる必要は全くなく、一つの個性だと考えています」と秋田社長。「広い視野で探せば、逸材があることに気づかされた」と話しています。

具体的な作業と目標を明示 プライドのある職人を育成

秋田社長は経営者仲間から「どうしてこれほど良い人材を集められるのか」と羨ましがられることがあるそうです。得意先企業からの高い評価を得て、同社では職人全員が常にフル回転。「一人として欠けては困る人材」（秋田社長）と、一人ひとりの存在価値は高く、お互いに認め合う関係を築いています。それもそのはず、40年のベテランだけでなく、若手までの全員が一つの仕事の全てを任せ



先進のNC工作機械の導入によって、逆に職人が持つ「勤」や「技術」が最大限に活かせるようになったという。



障がい者訓練校から人材を採用するにあたって整備された身障者用トイレ。

ています。「基本はものづくりが好きでないと務まらない仕事です。向いているかどうかなんて、実際にやってみないと誰にもわかりません。ただ採用する時に、これからどうい

うに、これからどうい

障がいを持つ人を積極的に雇用しているということで、堺市から表彰されたほか、平成23年度の「堺市障害者雇用貢献企業」にも認定されている。



①ワーク・ライフ・バランス推進 コンサルタント派遣事業

堺市では、専門のコンサルタントがワーク・ライフ・バランス診断と現状分析を行い、企業の実情に即した取組み方法をアドバイスいたします。

■対象

ワーク・ライフ・バランス制度の導入を検討または推進している市内事業所

※詳しくは下記までお問合せください。

②堺市障害者雇用貢献企業認定制度

堺市では、市内中小企業における障害者雇用を促進し、経営の安定を図るため、市が定める条件を満たし障害者雇用に積極的に取り組む企業を認定し、企業情報の発信や奨励金の支給等の支援措置を講ずる「堺市障害者雇用貢献企業認定制度」を実施しています。

■認定対象

市内に本社のある従業員300人以下の法人または個人（社会福祉法人、医療法人、NPO、公益法人等を含む。）で、要件に該当する企業

※詳しくは下記までお問合せください。

▶お問い合わせ先

堺市産業振興局商工労働部雇用推進課
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
TEL 072-228-7404 FAX 072-228-8816
E-mail : koyo@city.sakai.lg.jp
http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_roudou/index.html

仕事をしてもらおうと思っっているのか、そしてゆくゆくはどこまでの仕事を求めているのかをはっきりと伝えていきます。意欲というのは後から湧いてくるものですよ」。

良いものができれば喜びを感じ、失敗すれば悔しがる。任され信頼されることで、自ずと職人としての自尊心を育てているのでしょうか。「学歴も学校の成績も、ましてや障がいの有無なんて全く関係ない。謙虚さとプライドを持って、最大限の努力をする人こそが必要な人材です」と秋田社長は語っています。

株式会社昭和鋳金工作所

代表者 / 代表取締役 秋田秀勝
本社 / 堺市中区平井336
TEL / 072-278-3421
設立 / 1955年
資本金 / 1,000万円
従業員数 / 20名
事業内容 / 機械メーカー
・工具メーカー
の試作品製造、各種試験装置・治具設計製造



<http://www3.ocn.ne.jp/~shoban/>

平成24年度 堺市の中小企業者向け支援事業のご紹介

「堺市ものづくり新事業チャレンジ支援補助金」の申請を募集

新たなものづくりに必要な経費の一部を補助します。今年度は、企業単独で実施する事業も申請できます。

- 補助対象者 市内で引き続き1年以上事業を行っている中小企業者
 - 補助内容 【低炭素・環境エネルギー枠】 補助限度額…700万円、補助率…5/10以内～8/10以内
【指定成長産業分野枠】 補助限度額…600万円、補助率…5/10以内～8/10以内
【一般枠】 補助限度額…500万円、補助率…4/10以内
 - 募集期間 平成24年5月1日～31日(予定)
- お問合先：堺市ものづくり支援課 TEL072-228-7534 FAX072-228-8816

「堺市民間事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」の申請を募集

市内中小製造業者が省エネ・新エネ設備を設置する際に要する費用の一部を補助します。

- 補助対象者 市内で製造業を営む中小事業者
 - 補助内容 【省エネ設備(高効率空調機器、高効率ボイラ、LED照明)】 補助対象経費が500万円を超えるもの
補助限度額…1,500万円、補助率…補助対象経費の1/2以内
【新エネ設備(太陽光発電設備)】 発電規模が10kWを超えるもの
補助限度額…5,000万円、補助率…補助対象経費の1/6以内か10万円/kWのいずれか低い額
 - 補助期間 補助金交付決定日から補助対象事業終了日(最長：平成25年3月31日)まで
 - 募集期間 平成24年4月1日～平成25年1月31日(ただし市予算額に達し次第、募集終了)
- お問合先：堺市ものづくり支援課 TEL072-228-7534 FAX072-228-8816

「堺市中小事業所向け省エネ診断」の受診者を募集

省エネ対策の専門家である省エネ診断員を派遣し、事業所のエネルギーや経費のムリ・ムダ・ムラの削減方法について提案します。

- 対象 市内の中小事業所(ただし、年間のエネルギー使用量が原油換算で30kL以上100kL未満)
 - 診断費 無料
 - 募集期間 平成24年5月1日(予定)～平成25年1月31日
- お問合先：堺市環境局環境都市推進室 TEL 072-228-7548 FAX 072-228-7063



「さかい環境チャレンジ」 認定企業のご紹介①

環境ビジネスに参入している堺市内の中小企業を「さかい環境チャレンジ企業」として認定しています。詳細は当センターホームページをご覧ください。認定企業を掲載した冊子は当センターで配布しております。

(株)イクロス 木質バイオマスボイラー

主な事業内容：病院及び介護施設向けリネン品リース、環境機器開発・製造・販売・メンテナンス等

■ポイント：森林資源を有効活用。木質バイオマス温水ボイラー、蒸気ボイラー。

〒592-8342 堺市西区浜寺船尾町西5-3

TEL 072-268-6777 <http://icross-kankyo.jp>



(株)アイテック 超臨界ナノ粒子合成装置

主な事業内容：超臨界流体技術による洗浄・抽出・微粒子製造装置の開発・製造・販売等

■ポイント：研究開発型企業が開発した環境に優しいナノ粒子合成装置。

〒590-0984 堺市堺区神南辺町4-132-1

TEL 072-226-8853 <http://itec-es.co.jp/>



上商(株) 環境と健康に配慮した安全素材のやさしい壁紙「エアピュアレ」

主な事業内容：建築資材の製造・販売、建築内外装工事

■ポイント：細菌・ウイルス・有害化学物質悪臭を吸着・分解できる壁紙。赤ちゃんから高齢者まで安心できる材料のみを使用。

〒587-0062 堺市美原区太井248-2

TEL 072-361-0127 <http://www.kamisho.co.jp/>



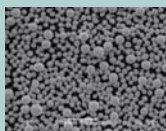
関西触媒化学(株) リチウムイオン電池材料

主な事業内容：触媒化学工業薬品製造販売

■ポイント：リチウムイオン電池の要ともいえる「正極用材料」を製造。独自の技術で電池の長寿命化に貢献。

〒590-0837 堺市堺区柏木町1-3-13

TEL 072-241-6200 <http://www.kansyoku.co.jp/>



ケイ・エイチ工業(株) 有害物質除去に優れた集塵機

主な事業内容：工場・プラントの相談窓口、運用最適支援

■ポイント：製薬メーカーに義務づけられたGMP省令に対応。集めた物質を再飛散させないフィルタ湿潤タイプ。

〒599-8246 堺市中区田園969-1

TEL 072-234-0781 <http://www.kh-co.jp/>



株式会社北山染工場

職人 笠松久才香さん

1989年福井県生まれ。関西外国語大学卒業。大学2回生の時に海外ボランティアに参加したのをきっかけに、日本の伝統文化に関心を抱く。2011年、株式会社北山染工場に入社。現在は、「壺人」の見習い修業中。

株式会社北山染工場

堺市西区津久野町3-5-12

TEL.072-262-5707

http://chusen-kitayama.com



染料が広がらないように糊で土手を作り、その中に染料を注ぎ入れる職人「壺人(つぼんだ)」を修業中の笠松さん。

日本の伝統工芸への関心から 注染の職人の道へ

手に技をつけるのに長い年月を要することなどから、今日、伝統工芸の世界では後継者不足が心配されています。そうしたなか、注染に関心を持った女子学生が堺の染物工場の門を叩き、押しかけ女房ならぬ、押しかけ職人に。株式会社北山染工場に笠松久才香さんを訪ねました。

ひんやりとした工場の一角で、一心に「土手」と呼ばれる防染糊を置く笠松さん。北山染工場でただ一人の女性職人です。「まだ見習いですけど(笑)」と語る笠松さんは、昨春に外国語大学を卒業したばかり。染物の仕事は、4回生の秋からのアルバイト期間も含めて、約1年半になります。

笠松さんが染物に興味を持つきっかけとなったのは、大学2回生の夏休みに参加した海外ボランティアでした。「アイスランドで、観光客のための山道の整備などをしていたのですが、そこで知り合ったスペインやイタリア、韓国、トルコなどからの大学生たちが、東京のようすや京都のお寺などいろいろ知っていて、日本はすばらしい国だとほめてくれました。それを特別なことだと思っていなかった私は、日本を見直すきっかけとなり、帰国後は日本の伝統文化に携わりたいといういろいろ調べてみたのです」。

福岡の久留米絣や笠松さんの故郷である福井県の越前和紙にも興味を持ったそうですが、笠松さんの心を捉えたのは一枚の手ぬぐいだったと言います。「あるお店で見かけた手ぬぐいの色の美

しさに惹きつけられました。そこで、堺市に注染の会社があることを調べて、見学に来たのです」。

2社目に訪ねた北山染工場で、見学に来たその日に働かせてほしいと北山雅啓社長に頼み込んだとか。「女性には厳しい現場なので続かないのでは」と拒むのを食い下がって、まずは一日体験をすることになり、そして、その日のうちに雇ってもらうことになりました。

念願の職人見習いとして働く今の気持ちについて「ああ、日本の伝統工芸の一端に携わっているんだという喜びを感じますね」と語る笠松さん。将来は伝統工芸士になりたいという夢はきつと叶えられることでしょう。



北山染工場のベテラン職人さんの手によって染められた浴衣と手ぬぐい。

堺刃物まつりを開催しました



堺刃物の販売で賑わう様子



古式鍛錬(火づくり)の実演

平成24年2月11日(祝・土)・12日(日)に第25回堺刃物まつり(主催：堺刃物まつり実行委員会)が当センターで開催されました。会場では堺刃物の展示・即売をはじめ、「古式鍛錬(火づくり)の実演」、「刃物のクリニック」、「包丁の柄付け・銘切りの実演」など堺刃物の優れた技術を広くPRしました。2日間の来場者数はのべ4万4千人となり、堺の伝統的な特産品である「堺打刃物」、「堺刃物」の価値を高めるとともに、日常生活へのより一層の普及浸透につながるイベントとなりました。

○後援・協賛団体名

後援

近畿経済産業局、大阪府、堺市、堺商工会議所、財団法人伝統的工芸品産業振興協会、社団法人堺観光コンベンション協会、財団法人堺市文化振興財団

協賛

南海電気鉄道株式会社、阪堺電気軌道株式会社、大阪府都市開発株式会社

堺は世界とつながっている

ニューヨーク 国際ギフトフェア

1月29日～2月2日、米国ニューヨーク市で開催されたギフト見本市「NYIGFニューヨーク国際ギフトフェア2012～冬展」に堺市から、株式会社梅栄堂、ハグルマ封筒株式会社、マサカズホリデザイン、山本紙業株式会社の4社が参加し、成約額は昨年を上回る結果となりました。

1年前の東日本大震災から数日後、山本紙業の山本氏から当センターに電話をもらいました。ギフトフェアで注文をいただいたお客様から、大丈夫かという問い合わせが来ているというもの。昨年もギフトフェアは、今年と同じく1月末から2月頭にかけて行われ、3月は受注した商品の発送の時期でした。取り急ぎバイヤーの方々に、堺はきちんとビジネスを遂行する旨の連絡をすると、返ってきたのは温かい励ましの言葉でした。

感謝の気持ちを持って出展した今回のギフトフェアは、とりわけバイヤーとのつながりを感じるものとなりました。ハグルマ封筒とマサカズホリデザインが最初に成約したのは、去年のフェアでも堺市ブースに来てくれたバイヤーたち。アメリカ人バイヤーは商品を見る目が厳しいのですが、



うち一組は去年も注文してくれていました。こうしてまた成約できたのは、堺市企業の商品が期待を裏切らなかったのと、今回も魅力的な商品を提供できていたからにほかなりません。

ニューヨーク・ブルックリンの代表的な台所用品店であるブルックリンキッチンのタイラー&ハリー夫妻も、去年につづいて来てくれたバイヤーたちのうちの一組。今回、堺市からはキッチン用品を扱う企業は出展していませんでしたが、挨拶に寄ってくれたのです。

梅栄堂はアメリカ人に漢字名を付けてあげる(Francineさんは“不乱心”、Jeanneさんは“寺院”など)サービスをしていましたが、笑顔で帰っていくバイヤーを見るにつけ、堺市企業にまたファンが増えたと感じました。

「イベントホール・セミナー室・会議室」貸会場のご案内

より便利に、より快適にご利用いただけるようになりました！

お支払い方法がお選びいただけます

従来の現金払いに加えて、銀行振込でも使用料をお支払いいただけるようになりました。これに伴い、FAXによるお申込の手続きも可能となっています(一部制限あり)。

詳細については当センターのホームページをご覧ください。

会議室・セミナー室の空調が改善されました

これまで館全体で集中管理されていた空調が、24年4月から、各会議室・セミナー室において個別に調節することが可能になり、より快適にご利用いただけるようになりました。

工事期間中のご不便をお詫びすると共に、皆様の一層のご利用をお待ちいたしております。



イベントホール(展示会形式)



イベントホール(ホール形式)



会議室1



セミナー室2

お気軽にお問い合わせください

堺市産業振興センター 総務課 TEL:072-255-0111

1階常設展示場
堺のものづくりコーナー
出展企業のご紹介②
株式会社オカノブラスト

当センター1階では、ものづくり産業全般の製品を展示しています。さらにパネルでも企業の説明を行い、堺の今の産業を分かりやすく紹介しています。IPCプレスでは毎回展示企業をご紹介します。

『受託加工30年の実績』

当社は、1982年創業以来、モノづくりの高品質化、高性能化には欠かせない表面処理技術について、独自の技術とノウハウを構築してきました。

これからも精密金属部品や金型等の幅広い表面改質のご要望に、最新の設備と技術でお応えしていきます。

■主な技術

精密ショットピーニング、精密ラッピング、ブラスト処理

■主な加工製品

輸送機器部品、金型、切削工具、精密部品など

〒599-8247 堺市中区東山648
TEL 072-234-0999 <http://okano-blast.co.jp/>

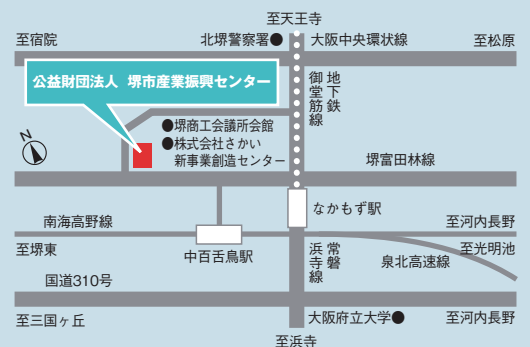


中小企業を全力応援

公益財団法人 堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200
<http://www.sakai-ipc.jp/>



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

二つと同じものがない、手作りの麻雑貨

コーヒー豆などの輸送用でお馴染みの麻袋。創業から75年、麻袋の製造を行ってきた藤田商店では、オリジナルブランド「麻工房FUJITA」を立ち上げ、麻袋を再利用した麻雑貨の製作・販売を始めました。天然素材の風合いを活かしたオシャレな鉢カバーや小物入れ、バッグにじわじわと人気が集まっています。

通気性が高く農作物が変質しにくいことから、米や大豆、家畜用飼料などの輸送用に多く使われていた麻袋は、貿易港のあった大阪や神戸周辺で、日本で流通するほとんどが製造されていたといえます。堺にもかつて麻袋メーカーが20数軒あったとか。昭和11年創業の藤田商店もその1社です。

最近では顧客のニーズに応じてオーダーメイドの麻袋の製造も行っている藤田商店ですが、75年間に培ってきた縫製技術を活かして何か新しい製品を作れないかと考え、2010年に「麻工房FUJITA」を設立。今では麻袋を再利用したボックスやバスケット、トートバッグなどの雑貨を製造・販売しています。最初苦労したのは、ボックスやバスケット

トをしつかりと立たせることだったと藤田裕社長。そこで、裏にジュート麻の生地を張り、芯には麻ロープを使用しています。縫製の糸以外はすべて天然素材。「長くご愛用いただいた最後は、土に還って環境への負荷が少ないのも麻のいいところです」（藤田社長）。

コーヒー豆が入っていた麻袋をそのまま再利用しているため、柄をどう使うかは一点工夫されているところ。二つと同じものがないのも嬉しい特長です。麻が持つ独特の風合いと天然素材の優しさが魅力の麻雑貨。これからますます、ナチュラル志向の高い女性たちの間で注目を集めそうです。



麻工房 FUJITA



製品はすべて、職人さんによる手作り。天然素材の材料が使われている。



「麻工房FUJITA」の発案者は、藤田商店の次代を担う藤田創さん。バスケットやボックス、レジ袋ストッカーなどのおしゃれなインテリア雑貨に、若い感性が生きています。「自然との共生をテーマに、どんどん魅力ある商品を開発していきたい」と、皮の端材を使っ

たバッグも近々発売の予定です(写真中央)。「麻工房FUJITA」の製品は、オンラインショップをはじめ、神戸市のベジフル・カフェ「百菜」(サザンモール六甲内)で購入できます。

堺市堺区楠町2-1-26
☎072-244-6612
<http://www.asakoubou.com>



藤田裕社長